



必要な工具	手回しプラスドライバー
-------	-------------

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

●本体脱落の原因になりますので、下記事項をお守りください。

- ・本体を吊込む際は、必ず脱着レバーが下がったことを確認し、固定ねじを締付けてください。
- ・建付け調整(丁番による調整)時、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の留めねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。

### ■取付け上のおお願い

●丁番のねじ締付けおよび建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。  
電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

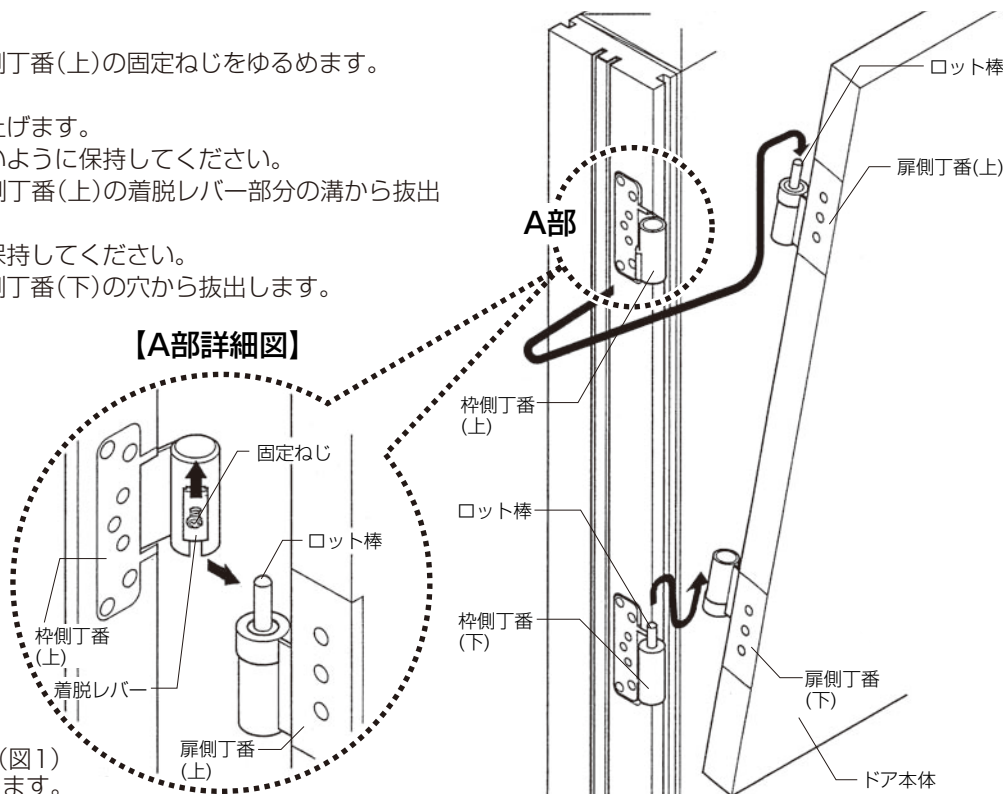
### ■対象となるドア丁番

商品コード	商品名称	ドア1体分の必要数	付属ねじ
FNMB206	枠側丁番(上) L用	各1※左吊の場合	皿小ねじM4×25：4本
FNMB208	枠側丁番(下) L用		皿小ねじM4×25：4本
FNMB207	枠側丁番(上) R用	各1※右吊の場合	皿小ねじM4×25：4本
FNMB209	枠側丁番(下) R用		皿小ねじM4×25：4本
FNMB211	扉側プレート	2	皿タッピンねじφ4×25：4本
FNMB212	ES丁番羽セット(本体側)	1	なし

### ■交換手順

#### 1. 本体の取外し

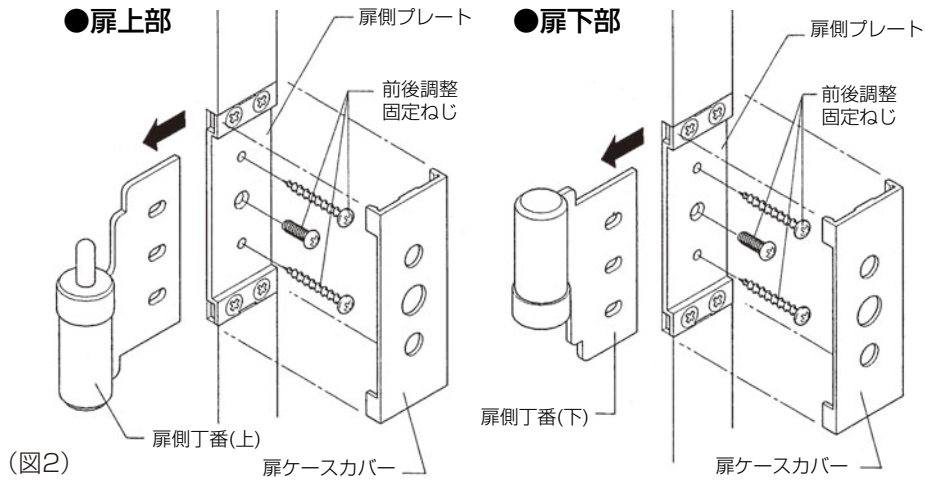
- ①手回しプラスドライバーで枠側丁番(上)の固定ねじをゆるめます。  
(図1 A部詳細図)
- ②枠側丁番(上)の着脱レバーを上げます。  
※必ず片方の手で本体が外れないように保持してください。
- ③扉側丁番(上)のロット棒を枠側丁番(上)の着脱レバー部分の溝から抜出します。  
※両手で本体が外れないように保持してください。
- ④枠側丁番(下)のロット棒を扉側丁番(下)の穴から抜出します。  
(図1)  
※両手で本体が外れないように保持してください。



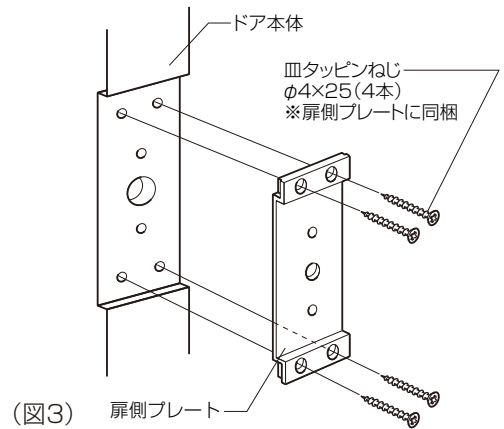
(図1)  
※図は右吊本体を表します。

## 2. 扉側丁番の交換

- ①扉ケースカバーを扉側プレートから取外します。  
(図2)
- ②前後調整固定ねじを手回しプラスドライバーで取外します。
- ③扉側丁番(上・下)を扉側プレートの溝から抜出します。

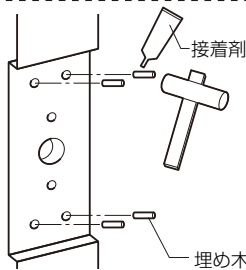


- ④手回しプラスドライバーで扉側プレートの取付けねじを外します。  
(図3)
- ⑤扉側プレートを交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。  
※ねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。



### ■埋め木の取付け方

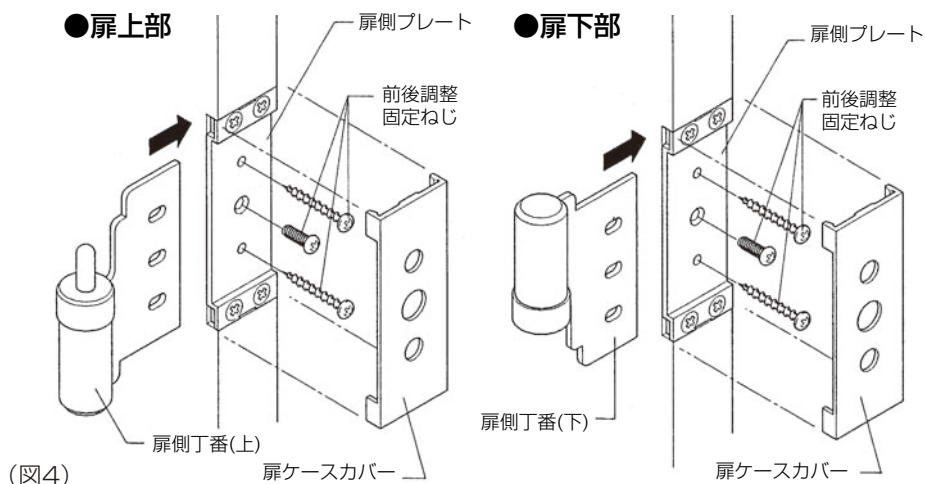
- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。



- ⑥扉側丁番(上・下)を扉側プレートの溝に差込みます。  
(図4)
- ⑦手回しプラスドライバーで前後調整固定ねじを固定します。
- ⑧扉ケースカバーを扉側プレートの溝(扉側丁番の裏側)に付けます。

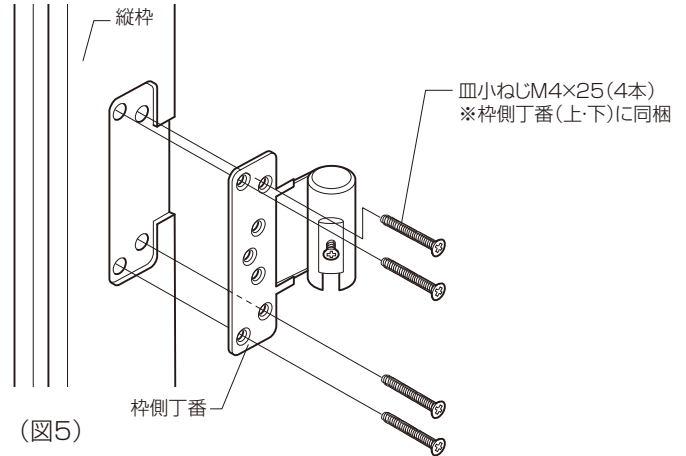
### ●お願い

※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。



### 3. 枠側丁番の交換

- ①手回しプラスドライバーで枠側丁番(上・下)の取付けねじを外します。  
(図5)
- ②枠側丁番(上・下)を交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。  
※枠側丁番のねじ穴には枠の裏側から鬼目ナットが入っているため、ねじが空回りすることがなく、埋め木は必要ありません。



(図5)

#### お願い

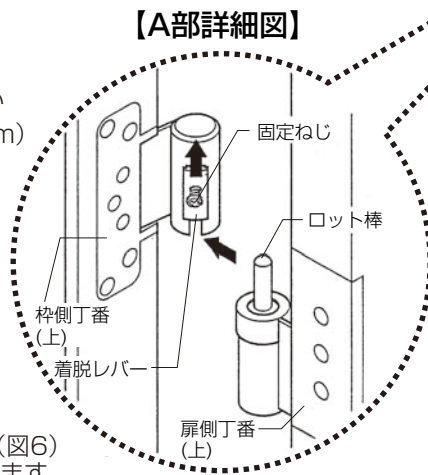
※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

### 4. 本体の吊込み

- ①枠側丁番(上)の着脱レバーを上げます。  
(図6 A部詳細図)
- ②枠側丁番(下)のロット棒を扉側丁番(下)の穴に差込みます。  
(図6)
- ③扉側丁番(上)のロット棒を枠側丁番(上)の着脱レバー部分の溝よりはめ込みます。  
(図6 A部詳細図)
- ④着脱レバーが下がったことを確認し、固定ねじを締めます。
- ⑤本体を吊込んだ後、下記項目を点検し、本固定します。

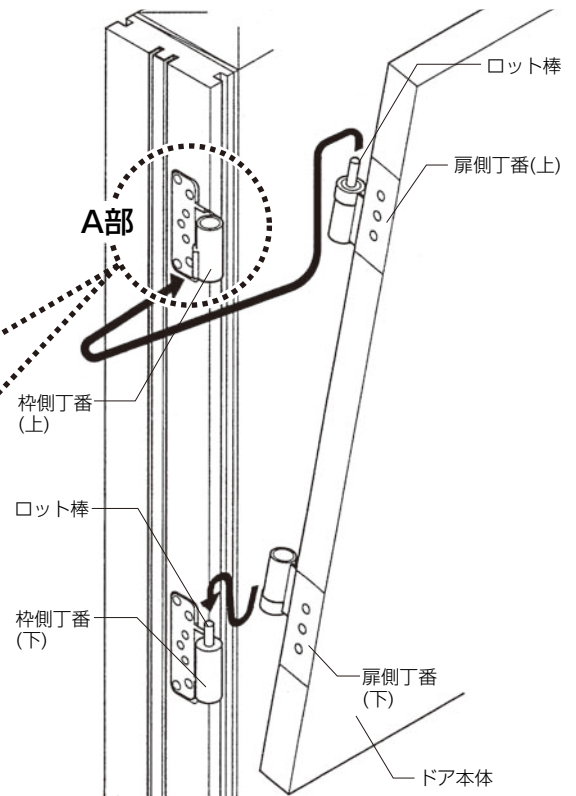
#### <点検のお願い>

- 枠と本体のすき間は均等ですか  
(左右4mm・上3mm・下5mm)
- 本体の開閉がスムーズにできますか



(図6)

※図は右吊本体を表します。

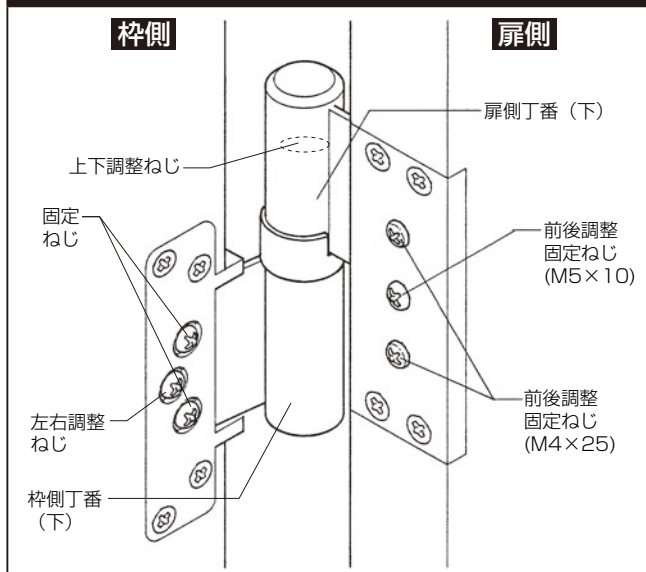


#### ▲注意

- 本体を吊込む際は、必ず着脱レバーが下がったことを確認し、固定ねじを締付けてください。着脱レバーが上がっていたり、固定ねじがゆるんでいると本体脱落の原因になります。

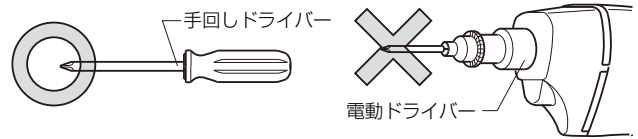
## 5. 建付け調整

### 調整丁番による上下・左右・前後のチリ調整



### お願い

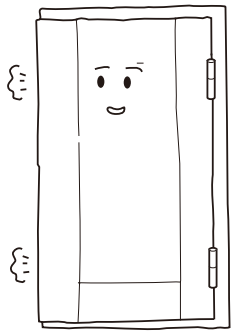
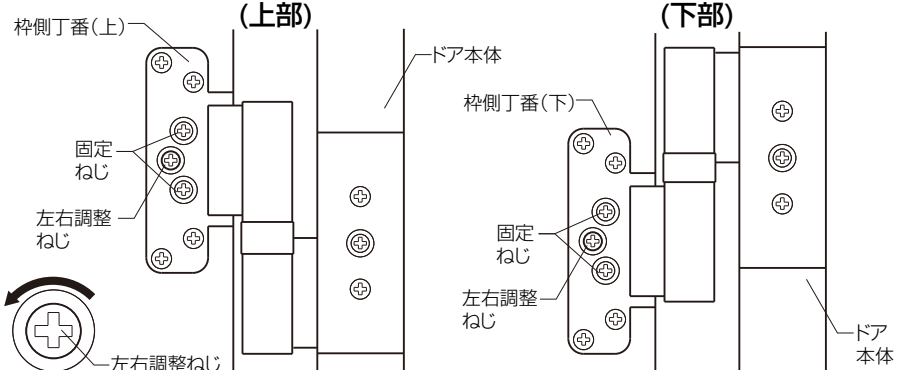

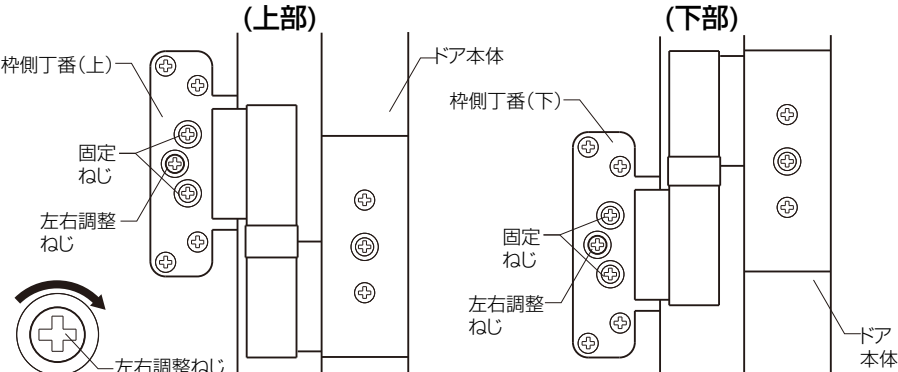

※建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。



### ▲注意

●建付け調整(丁番による調整)時、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の留めねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。

	不具合例	調整方法
1	<p>本体の上部が枠に当たる</p>	<p>本体を下げてください</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①扉側丁番(下)上部のキャップを外します。</li> <li>②キャップの下にある上下調整ねじを手回しプラスドライバーで左に回し、本体を下げて位置を決めます。</li> <li>③調整後に中間カバーを動かして、丁番軸のすき間を隠してください。</li> </ol>
2	<p>本体の下部が枠に当たる</p>	<p>本体を上げてください</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①扉側丁番(下)上部のキャップを外します。</li> <li>②キャップの下にある上下調整ねじを手回しプラスドライバーで右に回し、本体を上げて位置を決めます。</li> <li>③調整後に中間カバーを動かして、丁番軸のすき間を隠してください。</li> </ol>

不具合例	調整方法
<p>3 本体の戸先側が枠に当たる</p> 	<p>本体を吊元側に移動してください</p> <p>①手回しプラスドライバーで固定ねじをゆるめます。 ②左右調整ねじを左に回して本体を吊元側に移動します。 ③位置が決まったら固定ねじを締めます。</p> 
<p>4 本体の戸先側のすき間が大きい</p> 	<p>本体を戸先側に移動してください</p> <p>①本体を移動させる分量だけ左右調整ねじを手回しプラスドライバーで右に回します。 ②固定ねじを締めると本体は戸先側に移動します。</p> 
<p>5 左右縦枠がねじれている</p> 	<p>本体を前後に調整してください</p> <p>①手回しプラスドライバーで前後調整固定ねじをゆるめます。 ②本体を必要な分量だけ前または後ろに移動させます。 ③位置が決まったら前後調整固定ねじを締めてください。</p> 